

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-020475

(43)Date of publication of application : 21.01.2000

(51)Int.Cl.

G06F 15/02  
G06F 17/60

(21)Application number : 10-183576

(71)Applicant : NEC HOME ELECTRON LTD

(22)Date of filing : 30.06.1998

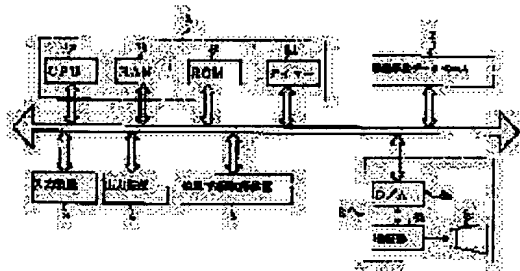
(72)Inventor : NISHIBAYASHI TAKUYA

## (54) SCHEDULE MANAGING DEVICE

### (57)Abstract

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a schedule managing device for reporting a schedule to a user before suitable time while considering position information.

**SOLUTION:** The schedule inputted from an input device 3 is preserved in a RAM 1b, a current position is acquired from a position information acquiring device 5 and added with the position information of the schedule stored in the RAM 1b and when a moving means and moving time are provided from a moving means data base 2, a mobile longitudinal data base and a moving means calculating engine are prepared as an external server. Then, the current position and a target position are sent through a public line to the side of a server and the processing result is received from the server or current time is acquired from a timer 1d. When the result of current time + moving time is close to the time of the schedule, the moving means is matched to the user and reporting is performed by a speaker part 6 of a D/A converter 6a, amplifier 6b and speaker 6c.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

06.09.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-20475

(P2000-20475A)

(43) 公開日 平成12年1月21日 (2000.1.21)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 15/02	3 5 5	G 0 6 F 15/02	3 5 5 A 5 B 0 1 9
	3 3 5		3 3 5 E 5 B 0 4 9
17/60		15/21	L

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-183576

(22) 出願日 平成10年6月30日 (1998.6.30)

(71) 出願人 000001937

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号

(72) 発明者 西林 卓也

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

内

Fターム (参考) 5B019 EB07 GA03 HG24 JA02 KA04

KA06

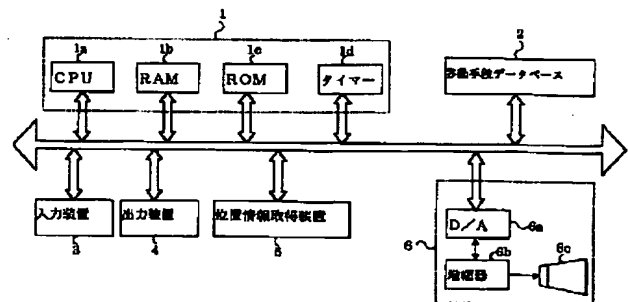
5B049 AA02 CC32 FF06 GG02 GG03

(54) 【発明の名称】 スケジュール管理装置

(57) 【要約】

【課題】 位置情報を加味し、適切な時間前にスケジュールをユーザに通知するスケジュール管理装置を提供。

【解決手段】 入力装置3から入力されたスケジュールがRAM1bに保存され、現在位置を位置情報取得装置5より取得し、RAM1bに格納されたスケジュールの位置情報とあわせ、移動手段データベース2から移動手段と移動時間を得た時、移動経路データベース及び移動手段算出エンジンを外部サーバとして用意し、現在位置と目標位置を公衆回線を通じてサーバ側に送り、処理結果をサーバより受け取るか、現在時刻をタイマー1dより取得し、現在時刻+移動時間がスケジュールの時間に近い場合、ユーザに移動手段を合わせてD/Aコンバータ6a、増幅器6b、スピーカ6cのスピーカ部6で通知を行う。



Best Available Copy

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 登録されるスケジュールの補助項目に開始時刻及び目標位置情報を記憶する記憶手段と、この記憶手段に記憶された目標位置情報に基づく現在位置への移動時間を所定間隔で演算する演算手段と、この演算手段で演算された結果に基づき、予め計時された計時時間に応じて通知を行う通知手段とで構成されたことを特徴とするスケジュール管理装置。

【請求項 2】 通信回線を介して上記現在位置と目標位置をサーバに通知し、このサーバから得られた演算結果と上記計時時間に応じて通知する上記通知手段で構成されたことを特徴とする請求項 1 記載のスケジュール管理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スケジュール管理装置に係り、特に、管理項目として位置情報を追加したスケジュール管理装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来のスケジュール管理装置は、日時を基本項目とし、そこに備考などの補助項目を設け管理する手段及び、ユーザ設定によって用件の一定時間前に通知（例：30分前など）を行う手段を備え、装置自身の中で閉じたスケジュール管理のみのため、通知が促されるタイミングが実状にそぐわなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のスケジュール管理装置は、特定の時間の前にしか通知が行えず、移動時間を考慮に入れた場合、この通知時間を考慮に入れて適正に通知できなかった。

【0004】そこで、本発明の目的は、位置情報を加味して適切な時間前にスケジュールをユーザに通知するスケジュール管理装置を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上述の課題を解決するために、本発明のスケジュール管理装置は、登録されるスケジュールの補助項目に開始時刻及び目標位置情報を記憶する記憶手段と、この記憶手段に記憶された目標位置情報に基づく現在位置への移動時間を所定間隔で演算する演算手段と、この演算手段で演算された結果に基づき、予め計時された計時時間に応じて通知を行う通知手段とで構成されたことを特徴とする。

【0006】また、上述の課題を解決するために、本発明のスケジュール管理装置は、通信回線を介して上記現在位置と目標位置をサーバに通知し、このサーバから得られた演算結果と上記計時時間に応じて通知する上記通知手段で構成されたことを特徴とする。

## 【0007】

【発明の実施の形態】次に、本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置を図面を参照して説明する

【0008】図 1 は、本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置のブロック構成図である。

【0009】図 2 は、本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置のフローチャートである。

【0010】本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置は、図 1 に示すように、登録されるスケジュールの補助項目に開始時刻及び目標位置情報を記憶する記憶手段である位置情報取得装置 5 と、この位置情報取得装置 5 に記憶された目標位置情報に基づく現在位置への移動時間を所定間隔で演算する演算手段である演算処理装置 1 と、この演算処理装置 1 で演算された結果に基づき、予め計時された計時時間に応じて通知を行う通知手段であるスピーカ部 6 とで構成される。

【0011】また、演算処理装置 1 は、CPU 1 a と、RAM 1 b と、ROM 1 c と、タイマー 1 d とで構成され、位置情報取得装置 5 は、GPS (Global Positioning System) レシーバを用い、GPS 衛星からの電波を受信して GPS 測位データ（緯度／経度／高さ）を得、このデータを位置情報として処理する。

20 【0012】次に、本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置の動作を図面を参照して説明する。

【0013】本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置の動作は、図 1 及び図 2 に示すように、入力装置 3 から入力されたスケジュールが RAM 1 b に保存され、現在位置を位置情報取得装置 5 より取得し、RAM 1 b に格納されたスケジュールの位置情報とあわせ、移動手段データベース 2 から移動手段と移動時間を得た時、移動縦断データベース及び移動手段算出エンジンを外部サーバとして用意し、現在位置と目標位置を公衆回線を通じてサーバ側に送り、処理結果をサーバより受け取るか、現在時刻をタイマー 1 d より取得し、現在時刻 + 移動時間がスケジュールの時間に近い場合、ユーザに移動手段を合わせて D/A コンバータ 6 a、増幅器 6 b、スピーカ 6 c のスピーカ部 6 で通知を行う。

## 【0014】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のスケジュール管理装置によれば、予め計時された計時時間に応じてスケジュールを通知できるため、有効な時間にユーザにスケジュールを通知できる効果がある。

## 40 【図面の簡単な説明】

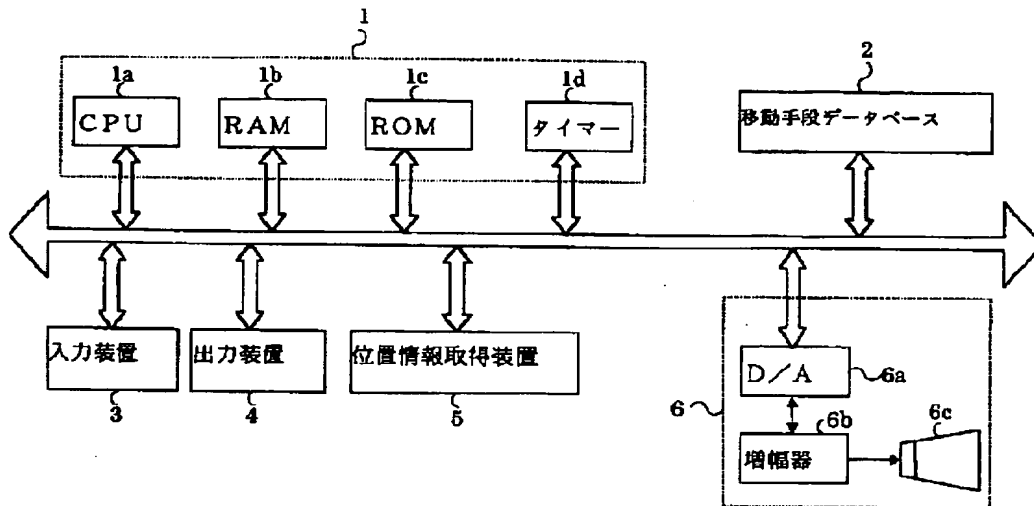
【図 1】本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置のブロック構成図である。

【図 2】本発明の一実施の形態によるスケジュール管理装置のフローチャートである。

## 【符号の説明】

- 1 演算手段（演算処理装置）
- 2 スケジュール管理装置（移動手段データベース）
- 3 スケジュール管理装置（入力装置）
- 4 スケジュール管理装置（出力装置）
- 50 5 記憶手段（位置情報取得装置）

【図1】



【図2】

